

# 小平町地域公共交通協議会における地域公共交通確保維持改善事業の概要

## 事業実施の目的・必要性

小平町は、北海道の北西部、留萌振興局管内の南部に位置し、面積は627.22㎡であり、留萌管内においては最大規模の行政区域を有している。小平市街地内や小平町の東部に位置する達布地区に至るまで、広範囲に渡る公共交通となっているデマンドバスの運行は、地域住民の食料品や生活用品の購入、医療機関の受診や高校通学など、日常の生活を支える基盤となっており、地域住民が住みなれた地域で安心して快適な暮らしができるよう、地域内フィーダー系統確保維持事業により移動手段の提供を図るものである。

## 生活交通確保維持改善計画の目標

- ・運行区域内の移動手段を持たない住民に対し、ダイヤの改正や車両の整備などにより、利便性の高い公共交通を提供する。
- ・運行エリア内に居住する利用者にとって無理と無駄のない効率的な運行を行うため、複数台の車両を導入し地域内フィーダー系統を維持・確保するとともに、利用者の増加を図る。

数値目標としては、平日1日当たりの利用者数を70人とする。

## 平成31年度事業概要

- ・小平町デマンドバス達布線(滝下～小平)の運行
- ・平日1日当たり運行回数 6往復(往路5便 復路7便)
- ・車両減価償却費補助による複数台の車両による運行

## 地域公共交通の現況

- ・小平町デマンドバス(町内1路線)
- ・沿岸バス(株)(地域間3路線)
- ・(有)小平ハイヤー
- ・スクールバス(町内4路線)

## 協議会開催状況

- ・令和元年6月21日 第1回小平町地域公共交通会議「令和元年度地域内フィーダー系統確保維持計画(案)」について
- ・令和元年8月20日 第2回小平町地域公共交通会議(書面会議)「令和元年10月1日デマンドバス運賃の改正(案)」について
- ・令和元年9月13日 第3回小平町地域公共交通会議(書面会議)「令和元年10月1日デマンドバス定期運賃の改正(案)」について
- ・令和2年1月9日 第4回小平町地域公共交通会議(書面会議)「地域公共交通確保維持改善事業の事業評価(案)」について

## 平成31年度事業の実施状況

### 1) プロセス、創意工夫

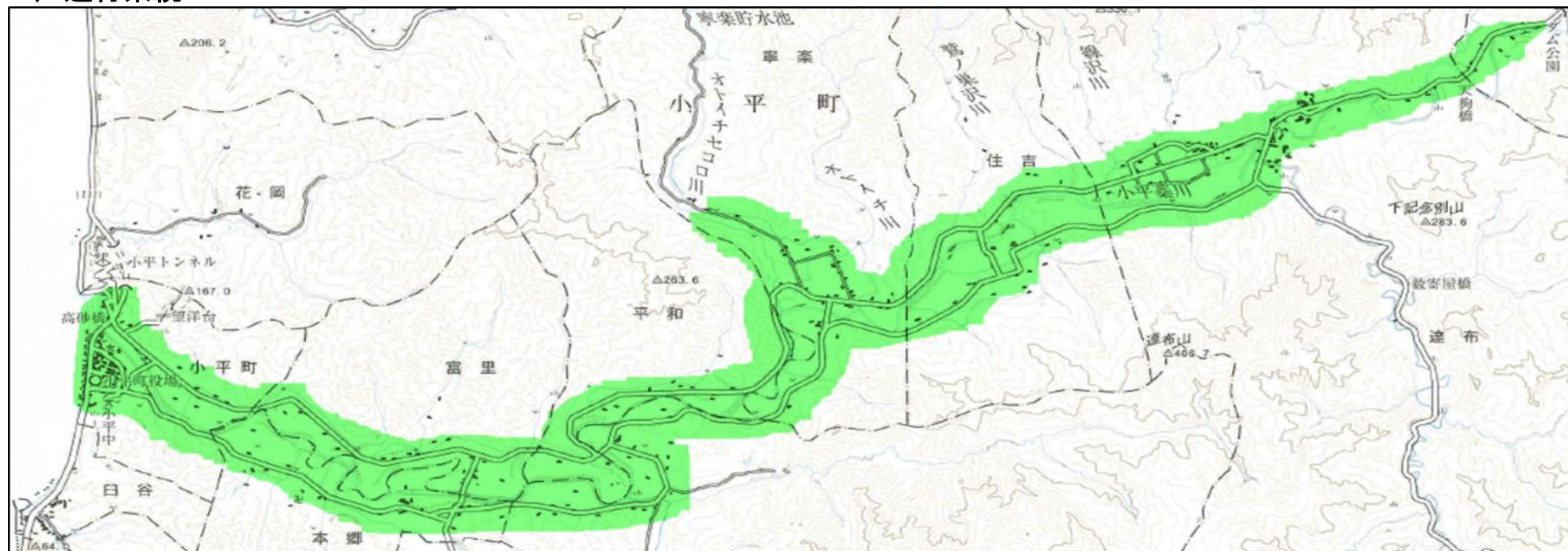
#### 【プロセス】

- ・平成24年度 小平町地域公共交通会議発足、町内公共交通の状況及び住民意識調査、町内地域公共交通の検討
- ・平成25年度 小平町における既存地域公共交通事業の見直しと新しい地域公共交通事業の構築検討、小平町地域公共交通調査事業の事業評価
- ・平成26年度 小平町で導入を予定するデマンドバスの概要説明、小平町生活交通ネットワーク計画(地域内フィーダー系統確保維持計画)策定、デマンドバス住民説明会、デマンドバス運行開始(10月1日)
- ・平成27年度 広報誌等によるデマンドバスの利用促進の呼びかけ
- ・平成28年度 ダイヤを見直し、小平町における地域間幹線系統との接続を改善、アンケート調査実施
- ・平成29年度 地域間幹線系統のダイヤ改正に合わせ、地域内フィーダー系統のダイヤ改正、利用者が少ない便の見直し
- ・平成30年度 地域間幹線系統のダイヤ改正に合わせ、地域内フィーダー系統のダイヤ改正、広報誌による高齢者の利用促進、デマンドバス用の待合所開設
- ・平成31年度 地域間幹線系統のダイヤ改正に合わせ、地域内フィーダー系統のダイヤ改正、発車時刻調整による車内での待ち時間短縮

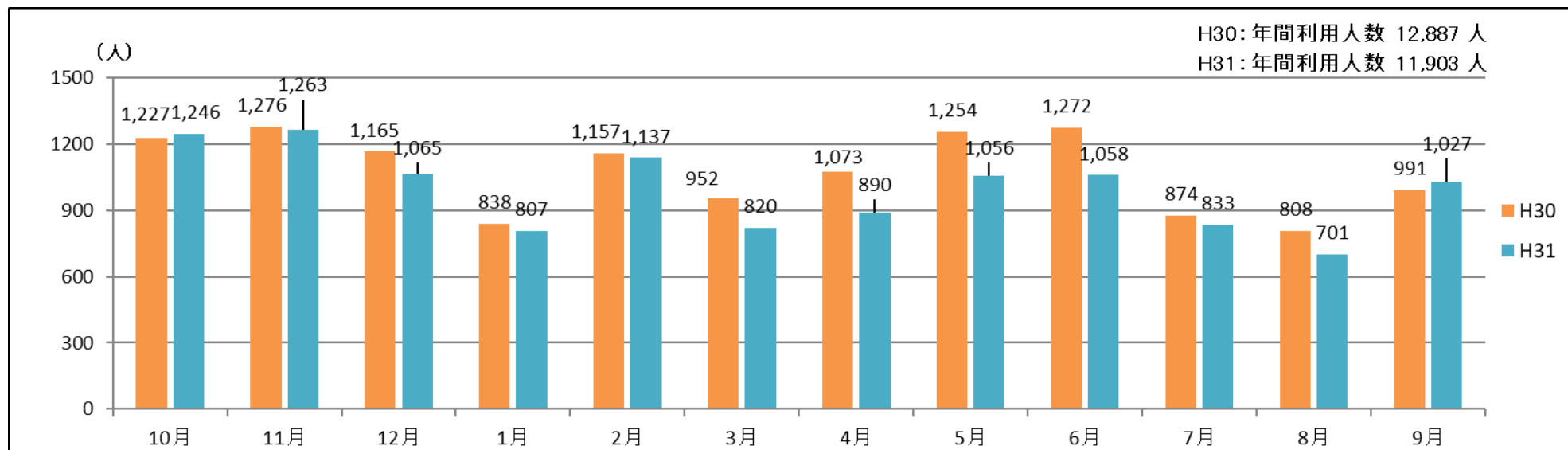
#### 【創意工夫】

- ・消費税率改正に伴う運賃の見直しについて、消費者の利便性と費用負担の増を勘案し、本体価格の見直しにより運賃額の増額改定を見送り、利用促進を図った。

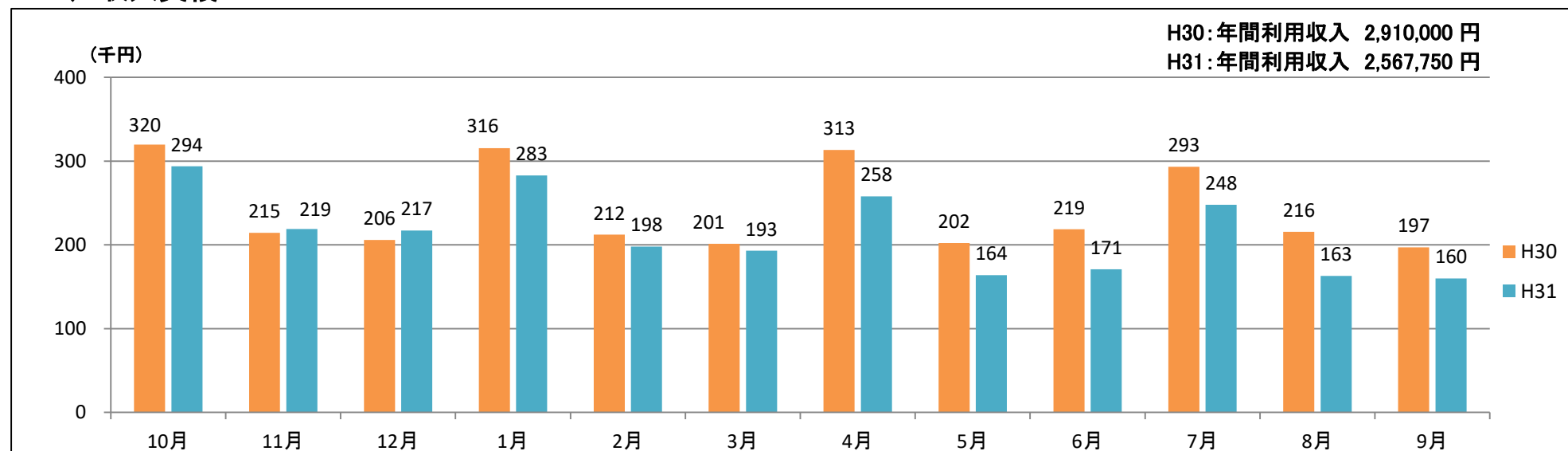
### 2) 運行系統



### 3) 利用実績



### 4) 収入実績



## 5) 事業実施の適切性

計画通り事業は適切に実施された。

## 7) 事業の今後の改善点

人口減少による利用者の減少も懸念されるが、高齢化や運転免許証の返納など、今後も公共交通の必要性は高いと見込まれる。

幹線系統の接続のためのダイヤ改正はもちろん、利用者減少の要因分析と住民ニーズの把握等も念頭におき利便性向上の取組を実施していく。

## 6) 目標・効果達成状況

### 【フィーダー系統、車両減価償却費補助共通】

目標である平日1日当たりの利用者数70人の目標には届かず、63人/日となった。

沿線人口の減少、さらにデマンドバスを利用する児童生徒のうち、本町以外の市町村へ進学した等による影響もあると思われる。

## 8) 地方運輸局及び地方航空局における二次評価結果(案)

運輸局記載欄